

第 46 回釜ヶ崎越冬闘争への支援・参加のお願い

釜ヶ崎に心を寄せる全ての仲間の皆さん!

きびしい冬が目前にせまっています。屋外で働く釜ヶ崎労働者にとって過酷な時期です。とりわけ仕事にアブレ失業-野宿を強いられる仲間にとって餓死・凍死は現実の問題であり、それとの闘いは釜ヶ崎の闘いの原点としてあります。とりわけ、行政の窓口が閉じられる越年期にはその矛盾が集中します。

こうした中、釜ヶ崎では仲間の命を守り抜く闘い-越冬闘争が多くの中間の皆さんの支援を受け闘い継がれてきました。今年で 46 回目を迎えます。本年 11 月 10 日には、釜ヶ崎で労働者に責任を持って活動している団体・個人によって「第 46 回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会」が結成され「仲間内の団結で一人の餓死・凍死者も出さな!」を合言葉に越冬闘争の準備が進められています。仲間の皆さんの支援と集団野営、炊き出し、パトロール等への積極的参加を要請したいと思います。

仲間の皆さん!

「景気回復」がさけばれ、東日本大震災の復興事業、そしてオリンピック関連の建設工事、関西に於いても「30 年以内に 70%の確率でおこる」といわれている南海トラフの地震に対する大がかりな防災工事があり「職人不足」が叫ばれていますが、釜ヶ崎のアブレ地獄は深まるばかりです。こうした中で約 9000 名の仲間が生活保護への移行を余ぎなくされていますが「生活保護に行けない、行かない」仲間たちは野宿を強いられシェルターを利用せざるをえない、炊き出しの列にならばざるをえない状況です。又、かろうじて仕事にありつけている仲間もゼネコンを頂点とした重層的下請け構造によるピンハネが強まり賃金が年々下がり続けています。

釜ヶ崎労働者の当面の要求ははっきりしています。「野宿をさせるな仕事をさせろ」「働いてメシを喰わせろ」です。こうした仲間たちの声、要求を具体的な「しくみ」づくりに結実させ「安心して働き生活できる釜ヶ崎」を実現していきたいと考えています。より具体的には闘いの中で作り出してきた「特掃」-社会的(公的)就労を拡大させること。55 才以下の若い仲間にも働けるしくみを作ること。更には生活保護に移行した仲間への「しめつけ」を許さず、口さきだけではない就労自立に向けた施策を実行させることです。

今、こうしたもっとも本質的な就労対策を欠いた所でセンター移転-縮小を前提に「まちづくり」が進められようとしています。こうした動きにも歯止めをかけていかなければなりません。更にはマスコミには取り上げられていませんが、野宿する仲間への排除、いやがらせは続いています。こうした攻撃を仲間の団結した闘いでうち破っていく、そうした団結をつくり出す越冬闘争を闘

い抜きたいと考えています。

仲間の皆さん!

こうした闘いと結びつけアメリカに追いつき改憲-戦争への道をつき進む安倍政権と対決し「原発も戦争(基地)も差別も失業-野宿もない社会」を目指す全国-全世界の仲間たちとの団結を目指していきたくと考えています。

今年の越冬にも反原発を闘う仲間、反戦・反基地を闘う仲間、差別と闘う仲間、更には現場で労働問題を闘う仲間がかけつけてくれるでしょう。学生たちもかけつけてくれるでしょう。沖縄からも仲間がかけつけてくれるでしょう。こうした仲間たちと釜ヶ崎労働者の強固な団結をつくり出していきましょう

冬将軍を迎え撃ち、一人ひとりが支え合い「仲間内の団結で一人の餓死・凍死者も出さな!」を合言葉に第46回釜ヶ崎越冬闘争を闘いましょう。

■資金で協力

越冬闘争では、毎年70万~80万の資金が必要となります。現在も越冬闘争実行委員会では資金集めに奔走しております。厳しさを増すこの経済状況にあつて、心苦しい限りではありますが、釜ヶ崎の運動・取り組みに関心を寄せる多くの皆さまに資金協力お願いしたく思います。

【振込先】①みずほ銀行 難波支店 普通口座 1387094
釜ヶ崎実行委員会 代表 山田実

②ゆうちょ銀行 記号141 番号 33722521

【他金融機関からの振込】

③ゆうちょ銀行 店番418(ヨンイチハチ) 普通預金 3372252

④郵便振替講座 00960-4-108331

(②③④の名義は「釜ヶ崎実行委員会」)

■物資で協力

越冬闘争では次のような物資が必要です。皆さまのご協力をお願い致します。

◇毎日の炊き出しに使う米、もち米、お米券、調味料、野菜、その他食料品

◇寝場所、医療パトロールで使う布団、毛布類、寝袋、防寒着、カイロなど

◇その他、石鹸、タオルなどの日常生活品

【物資の送付先】

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋1-9-7

第46回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会(代表 山田実)

電話 06-6632-4273